

FEI インターメディアイトII 2009

時間 5'15''(参考時間)

競技会名 _____ 日付 _____ 審判員名 _____ 審判員位置

出番順 _____ 競技者名 _____ 所属 _____ 馬名 _____

馬匹の最低年齢:7才

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩	10					ペースの質、停止と移行 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C 左手前蹄跡に入る HXF 伸長速歩 FA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯のエネルギー、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
3.	A 中央線上に入る DG 中央線上の両側5mに3回のハーフパス、 最初と最後は右へ C 右手前蹄跡に入る	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、 手前変換における流暢さ 肢の交叉 左右対称な実施	
4.	MR間 パッサーージュに移行	10					流暢さ、即座に反応、セルフキャリッジ バランス、真直性	
5.	R(E) (斜線上に入り)斜線上パッサーージュ	10					整正、カダンス、収縮、 セルフキャリッジ、バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
6.	中央線 との 交点で	ピアップェ8-10歩 (1mの前進は許される)	10				整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
7.	ピアップェの 入りと/出で	パッサーージューピアップェーパッサーージュ の移行	10				リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、真直性 明確な実施	
8.	ピアップェから EVL	パッサーージュ	10				整正、カダンス、収縮、 セルフキャリッジ、バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
9.	L	ピアップェ8-10歩 (1mの前進は許される)	10				整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
10.	L	パッサーージューピアップェーパッサーージュ の移行	10				リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、真直性 明確な実施	
11.	LP	パッサーージュ	10				整正、カダンス、収縮、 セルフキャリッジ、バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
12.	PBS	伸長常歩	10			2	整正、背の柔軟、活発さ、オーバートラック 肩の自由さ、ハミへの伸展 常歩への移行	
13.	SHC	収縮常歩	10			2	整正、背の柔軟、活発さ、 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ	

FEI インターメディアイトII 2009

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
14.	C 右収縮駢歩発進 CM 収縮駢歩	10					明確な実施と流暢な移行 駢歩の質	
15.	MXK 中間駢歩 K 収縮駢歩、踏歩変換 KAFP 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩巾とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性 踏歩変換の質と移行	
16.	PX 左へハーフパス X 中央線上に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス 安定した屈曲、流暢さ	
17.	I 左へピルーエット C 左手前蹄跡に入る	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正確な歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
18.	HXF 伸長駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、 歩巾とフレームの伸展、バランス アップヒル傾向、真直性 中間駢歩との差異	
19.	F 収縮駢歩、踏歩変換 FAKV 収縮駢歩	10					斜線上での踏歩変換の質 明確でスムーズな移行の実施	
20.	VX 右へハーフパス X 中央線上に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス 安定した屈曲、流暢さ	
21.	I 右へピルーエット C 右手前蹄跡に入る	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正確な歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
22.	MXK 斜線上2歩毎の踏歩変換7回 KAF 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
23.	FXH 斜線上歩毎の踏歩変換11回 HC 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
24.	C 収縮速歩 MXK 伸長速歩 KA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展	
25.	C および、MとKでの移行	10					リズムの維持、流暢で正確かつ スムーズな移行の実施 フレームの変化	
26.	A 中央線上に入る DL間 パッセージュに移行 LI パッセージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、 運歩と背の弾力性 パッセージュへの移行	
27.	I 停止-不動-敬礼	10					停止と移行の質、真直性 コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		320						

FEI インターメディアイトⅡ 2009

出番順 競技者名 所属 馬名

総合観察

1. ペース(自由自在に変わり、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合 計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失 権

計

10			1	総合観察所見
10			1	
10			2	
10			2	
380				
			1回目	
			2回目	
			3回目	
最終得点率%:				

過失のリストと運動の脱落は、「過失」の付則を参照のこと

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行
 JEF 2009年4月1日施行